

陸上日本選手権 3選手優勝！
遠藤日向選手、泉谷駿介選手のオレゴン世界選手権代表内定

6月9日（木）～12日（日）にヤンマースタジアム長居（大阪）で開催された「第106回日本陸上競技選手権大会」において、当社陸上競技部（監督：渡辺康幸）の遠藤日向選手が男子5000mで優勝（大会2連覇、記録：13分22秒13）、泉谷駿介選手が男子110mハードルで優勝（大会2連覇、記録：13秒21）、上山紘輝選手が男子200mで優勝（記録：20秒46）したほか、4名（5種目）の選手が入賞いたしました。この結果により、大会前に参加標準記録を突破済みの遠藤日向選手、泉谷駿介選手の2名が、7月15日（金）～24日（日）までアメリカ・オレゴン州ユージーンで開催される「第18回世界陸上競技選手権大会」の日本代表に内定しましたので、お知らせいたします。



優勝した3選手（左から遠藤日向選手、泉谷駿介選手、上山紘輝選手）
写真：陸上競技マガジン

<第106回日本陸上競技選手権大会・当社入賞選手>

遠藤 日向
出場種目：男子5000m
順位：1位（大会2連覇）
記録：13分22秒13

泉谷 駿介
出場種目：男子110mH
順位：1位（大会2連覇）
記録：13秒21（向かい風1.2m）

News Release



上山 紘輝
出場種目：男子 200m
順位：1 位
記録：20 秒 46（追い風 1.7m）

小池 祐貴
出場種目：男子 100m
順位：4 位
記録：10 秒 19（追い風 1.1m）

出場種目：男子 200m
順位：2 位
記録：20 秒 62（追い風 1.7m）

御家瀬 緑
出場種目：女子 100m
順位：3 位
記録：11 秒 55（追い風 0.6m）

梅原 紗月
出場種目：女子 400mH
順位：4 位
記録：57 秒 61

伊東 利来也
出場種目：男子 400m
順位：8 位
記録：47 秒 01

<オレゴン世界選手権内定選手 プロフィール>

氏名 : 遠藤 日向 (えんどう ひゅうが)
自己ベスト : 5000m 13 分 10 秒 69
1500m 3 分 36 秒 69
3000m 7 分 49 秒 90
主な成績 : 2022 ニューイヤー駅伝 2 区
歴代日本人最高タイム
2021 日本選手権 5000m 優勝



News Release

氏名 : 泉谷 駿介 (いずみや しゅんすけ)
自己ベスト : 110mH 13 秒 06 (日本記録)
走幅跳 7m92
三段跳 16m08
主な成績 : 2021 東京五輪 110mH 準決勝進出
2021 日本選手権 110mH 優勝
2019 ドーハ世界選手権 110mH 日本代表



<ご参考>

住友電工陸上競技部ホームページ 選手プロフィール
<https://sei.co.jp/trackfield/profile/>

住友電工陸上競技部 Instagram アカウント : @sei__trackfield
※sei と trackfield の間には「_」が 2 つ入ります。

以 上

(お問い合わせ先)

広報部 広報グループ TEL 06-6220-4119 (大阪)・03-6406-2701 (東京)